

# 同推協だより

No.123

2020年 7月発行  
神前地区同和教育推進協議会  
Email: kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp

## <2020年度の役員紹介>

2020年度に向けた計画を立て、さらなる躍進をめざしていましたが、思いがけない年度初めとなってしまいました。当たり前前の日常が、当たり前ではなかったことを痛感させられる毎日ですね。新型コロナウイルスと共存しなければならなくなった今、正しい情報を見分け、自分の中にある偏見や差別心と向き合いつつ、人や社会とのつながりを断ち切らないよう冷静に行動していきたいものです。

同推協活動も、徐々に動き始めました。総会は啓発委員全員での開催はできませんでしたが、今年度の役員と、活動方針を一部紹介させていただきます。

今の状況で何が出来るか、何をすべきか、一緒に考え前に進んで行きましょう。今年度も宜しくお願いします。

役職名	名 前
会 長	川村 一朗
副会長	武藤 清
副会長	松野 賢司
書 記	近藤 静夫
会 計	林崎 恵美子
企画部長	坂倉 乾三
研修啓発部長	山口 香澄
広報部長	川村 艶子
総務部長	川北 敏

## ☆2020年度 同推協活動方針（一部抜粋）☆

同推協活動は、『自分達のまちづくりの活動』として位置づけられています。

差別によって歪められてきた関係を豊かに築き直すことが、未来に展望の持てる『人権のまち・かんざき』につながるということを、同推協から地域の人たちに、広くアピールしていきます。



### <今年度の主な活動計画>

- ◇啓発委員研修会・・・7.8月(2回実施)
- ◇町別・団体別懇談会・・・9月～10月頃
- ◇同推協のつどい・・・2月7日

★コロナ感染状況により、延期や中止の場合もあります。

同推協啓発委員さん 募集中!

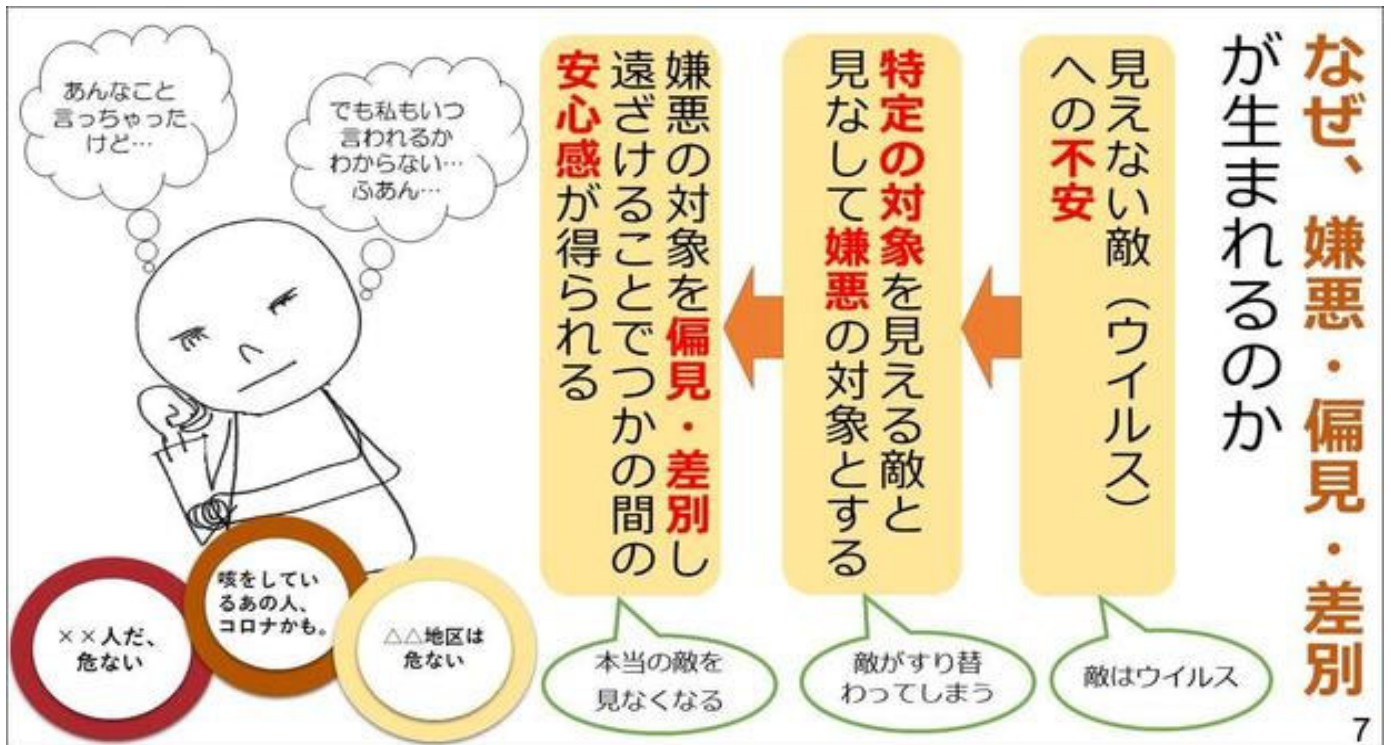


啓発委員になって頂ける方は市民センター団体事務局入口前に設置してあるポストにお名前を記入して頂き投函して下さい。 申込用紙は置いてあります。

日本赤十字社の、啓発資料・・・「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」より



～負のスパイラルを断ち切るために～



★上の啓発資料にあるように、コロナを恐れるあまり、不確かな情報に振り回され、特定の地域や、特定の職業、また感染して苦しんでいる方々などを『嫌悪』『排除』『差別』してしまう状況があちこちで見られます。不安が膨れあがっている今こそ、自分自身の言動をしっかりと見つめ、「確かな情報」のもと「差別的な言動に同調しない」私達でありたいと思います。



スウツと出る  
自分の言葉に  
差別葉心

コロナから、我が身や家族を守りたい気持ち

広報部員の声

感染対策は大事だけど、考え方など行きすぎてしまうと偏見や差別を生んでしまう。自分の中のちょっとしたスイッチのズレ(?)ひとつで自分が差別の加害者になってしまう怖さが。

県内でもコロナの感染者さんが近隣から石を投げられる、落書きされる、引っ越しせざるを得ない…と言う事例を聞いています。とてもいたたまれない気持ちになります。ふと自分を見つめてみると、直接的な攻撃まではしなくても、差別を拡散してしまったり、やはり「コロナが出た地域」という眼で見えてしまったりする自分もいます。もし身近な人が感染してしまったら、私はどういう言動をするのか…今なら「こうしよう。こんなことは言ったらダメ」と冷静に客観視出来るけど、いざとなったら出てしまう“もう一人の自分”がいるのではないかと思います。

「自分がされてイヤなことは相手にしない！」小さい子に教えるようなこと。一人一人がこの言葉を胸に刻んでいけば、過剰な風評被害や差別は減っていくのではないのでしょうか。

